# 緑樹

７月号
発行者
清川村立緑中学校
発行者責任者
市川　美紀子
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ
http://www.kiyokawa-edu.jp/sch/midori-jhs/

## よりよい緑中を目指して
### ～活発な話し合い！生徒総会～

六月十二日(木)の六校時に緑中体育館にて、生徒総会を開催いたしました。生徒会を中心に全校生徒によって真剣な話し合いが行われました。岩澤拓生生徒会長の「自分たちの学校のために本気で話し合おう。」という力強いことばでスタートを切りました。

事前に、学級や生徒評議委員会で十分に話し合いを行って臨んだ生徒総会でしたが、第５号議案(学校生活のきまりに対する意見や要望)では賛否さまざまな意見が出て、活発な話し合いができました。これからの緑中学校をよりよくしていこうという気持ちが生徒の様子から伝わってきました。

## 「人生の実力」

学校長　市川美紀子

梅雨明けを今か今かと待ちながら、思いは間近に迫る厚愛総体(厚木愛甲地区総合体育大会)の開幕に胸が躍ります。この時期にいつも思う事は、スポーツ選手達が繰り広げる自分だけのドラマについてです。正選手を夢見ながらも果たせなかった中学生の母への感謝、スポーツ傷害で障害者となってからも続ける選手生活、大会遠征中に父を亡くした学生の苦悩等、数え切れないほどのドラマがあります。平成二十四年の箱根駅伝でのこと。その年、東海大学は学校としての出場は叶いませんでした。二区を走る予定であったエースが負傷し、予選で敗退したのです。予選落ちした大学が連合チームとして出場することは許されていますので、東海大学の某選手は二区を任され、力走しました。彼が丁度、給水所に差しかかりると、負傷したチームメートが一生懸命に水を配っている姿が目に入りました。先ずは、その事に驚きを感じたと言います。当然、彼にも水が手渡されたわけですが、適量を飲んだ後はどの選手もボトルを路上に投げ落とす中、彼にはできなかった。ボトルを手に走る彼を見て、給水作業をしていたチームメイト（エース）は、ボトルを受け取ろうと走り出したのです。本当なら、自分が走るはずであった２区を。自分の横を伴奏するエースに少しでも長い距離を走らせようと、なかなかボトルを渡そうとしない選手。そんな２人のやり取りを見ていて、こみ上げてくるものを禁じえませんでした。若い二人の選手が、何の駆け引きもせずに魂を通わせ合った瞬間でした。私は、エースとして注目されてきた選手が、不承不承に給水所に立っていたのではなく、皆のために嬉々として働く姿に胸を打たれました。もちろん、そのことに敬意を表した２区走者にもです。病に冒された患者を看取るホスピスのある医師が、その人の在り方そのものが、「人生の実力」を示すと言っています。今年もまた、新たなドラマが展開されるでしょう。子ども達に「人（大人）っていいな！」と、思わせる何かが。　感謝

## 全校道徳「頑張ったね私」

六月十日（火）全校縦割り道徳を実施いたしました。今回の全校道徳は生徒の活躍が見られた体育大会を振り返り、「思いやりの心」と「信頼」をねらいとして、「頑張ったね私」という題材で取り組みました。人の前で自分の頑張ったところを話すのは勇気のいる事です。最初は恥ずかしそうでしたが、段々と仲間が発言した意見に対し、「そうそう」とうなずいたり、自然と拍手がわいていました。発表している生徒も笑みを浮かべて満足そうな表情をしていました。今回初めての取り組みでしたが、生徒は生き生きと活動していました。自分の考えが認められること、相手の考えを認めることの大切さを感じる一時間でした。

## 宮ヶ瀬中学校との一日交流会

六月六日（金）に宮ヶ瀬中学校との一日交流会があり、五名の生徒と先生方が来校しました。小学校の時から交流していますがお互いの成長に驚いていました。生徒の感想の中にも「いつもと違ってとても新鮮な一日でした。」「宮ヶ瀬中の生徒がいるといつもよりグループ活動が楽しかった。」「宮ヶ瀬中学校の人が加わり教室の雰囲気が違ったような気がした。」あり、どお互いに良い刺激になったようです。次回は十月に合同で合唱練習などを予定しています。

# 京都・奈良、思い出いっぱい
## ～3年生、修学旅行を終えて～

五月三十一日(土)～六月二日(月)の二泊三日の日程で、三年生は奈良・京都へ修学旅行に行ってきました。一度しかないこの瞬間、心に残る思いを寄せつつ、緑中を出発しました。新幹線で京都までの道中、会話やトランプをしたりと充実した楽しみまいりました。

なかなか見ることのできない大仏様の大きさに圧倒されました。倒れたら、大変！と、守屋実行委員長のあいさつ。「せーの！」というスローガンの時代に、聖徳太子の時代に、法隆寺に、鹿と戯れ、奈良公園で目の当たりにした。一日目は班別自主行動です。四月から学習を重ねてきました。当日は蒸し暑いなかでしたが、班員が団結し、交通手段を調べ、仏閣を選び、計画通りの活動ができました。三日目の朝、二泊の間温かいもてなしをしてくださったホテル「リオンドール」の方々にお礼を伝え、出発しました。朱色の鳥居が山の頂上まで並ぶ伏見稲荷で市川校長先生を始め数名の生徒が頂上を目指し登りました。

次の日は清水寺では昼食作りに挑戦しました。「豆腐を食べ手順正しく焼き、のり付け最後に清水焼の絵付け作業に挑戦しました。」の作品が完成しました。学んだ事は文化や体験学習での発表会で発表します。

# 六月の表彰と部活動の大会結果

## 県交通安全対策協議会より感謝状

今野巴那(二年)さんの応募した交通安全ポスターが、平成二十六年度二輪車交通事故防止運動のポスター部門に選ばれました。ポスター作成を通して、交通安全対策協議会より感謝状が授与されました。この記念品が授与されました。

## 陸上競技部（県央大会の結果）

八日(日)に大和陸上競技場で開催されました。通信陸上県央地区大会が六月七日(土)と八日(日)に大和陸上競技場で開催されました。僧の大雨の中、一年生のリレーを始めた。各種目ともに選手全員、最後まで力を尽くし奮闘しました。その中で二名が入賞しました。

・男子三年百メートル走
第二位　千葉優樹
（11秒59）
・女子共通砲丸投
第六位　矢部風蕗
（7m98）

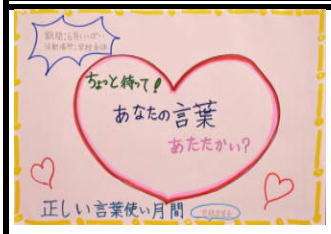
※尚、千葉優樹さんは、七月に開催されます県選抜陸上競技大会（三ツ沢競技場）と県通信陸上競技大会（平塚BMW競技場）に県央地区の代表として出場します。

※原下駐車場のフェンスに「陸上部県大会出場」の横断幕を掲示しました。ご覧ください。

# PTA高校訪問
## ～学年委員会主催～

六月十二日(木)にPTA高校訪問を実施いたしました。参加者二十三名で、県立厚木清南高等学校・光明学園高等学校・県立厚木東高等学校を訪問しました。各学校の特徴と校風、生徒の様子など実際訪問する事で感じ取ることができました。参加者の感想は「外からはなかなか見られない学校の様子がわかってよかった。」「私たちの頃とは違った雰囲気に驚きました。」などあり、各校とも担当の先生方が熱心に説明してくださり、収穫の大きい一日になりました。

# 「正しい言葉づかい月間」学級委員会活動




学級委員会では目標である「一人ひとりの人権を尊重する笑顔がたえない学級作り」の達成を目指し、話し合いをしてきました。そこで、六月は「ちょっと待って！あなたの言葉あたたかい？」をキャッチフレーズとし「正しい言葉づかい月間」を行いました。

# 緑小六年生合唱披露
## ～六月の生徒朝会～

六月二十日(金)、生徒朝会に小学六年生が参加しました。今回の生徒朝会は小中交流の一環として、緑小学校の六年生が「野に咲く花のように」「Let it go」を披露してくれました。小学生の透き通った高音の声が響き、感動しました。六年生の皆さんありがとうございました。

# 「学校保健委員会」にぜひ、お越しください

七月九日(水)十四時五十分より、学校保健委員会を緑中のホールで開催いたします。テーマは「健康・安全」を生徒の「健康・安全」を生徒と保護者、地域の方々を交えて話し合いをする会です。皆様の参加をお待ちしております。

## 7月8月予定表

**7月**

| | |
|---|---|
| 1日(火) | 学校朝会・安全点検 |
| 2日(水) | 2・3年進路ガイダンス |
| 4日(金) | 人権アンケート |
| 9日(水) | 第1回学校保健委員会 |
| 10日(木) | 三者面談（～14日） |
| 15日(火) | 第1回学校評議員会 |
| | 学校関係者評価委員会 |
| 16日(水) | ダンス発表会 |
| | 福祉人権体験学習 |
| | 給食終了 |
| 17日(木) | 芸術鑑賞会 |
| 18日(金) | 1学期終業式、大掃除 |
| | 安全点検、職員作業 |
| 21日(月) | 夏季休業　（～8／31） |
| 27日(日) | 清川ホームボランティア活動 |
| 30日(水) | 洋上研修会(～8／1) |
| 31日(木) | 生徒リーダー研修会 |

**8月**

| | |
|---|---|
| 3日(日) | うろこづくり |
| 9日(土) | 青龍祭 |
| 23日(土) | 登校日・PTAふれあい清掃 |